

II 日本の歴史に関するあとの問いに答えなさい。

1 江戸時代までの日本の文化に関する文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本では大陸との交流を通じて文化が形成されてきた。中国の歴史書には、3世紀前半に倭から使いが送られたことが書かれている。朝鮮半島からは漢字や儒教、仏教が伝えられた。推古天皇の頃には仏教を中心とした文化が栄え、天武天皇の頃には唐の文化の影響を受けた。聖武天皇の頃には仏教や大陸の影響を受けた国際色豊かな文化が開花したが、平安時代になり遣唐使が停止されると、貴族の間では、日本の風土や生活に合わせた文化が生まれた。鎌倉時代には質素で素朴な武士の気風を反映した文化が栄え、室町時代には、貴族と武士の文化の一体化が進み、金閣や銀閣が建てられた。安土桃山時代になると、大名の権力や商人の経済力を背景にして雄大で豪華な文化が生み出された。江戸時代には、社会が安定していく中で町人が文化の担い手となり、前期の「元禄文化」は上方を中心に、後期の化政文化は江戸を中心に栄え、交通の発達によって地方にも広がりを見せた。

(1) 下線部 a に関して、魏に使いを送った卑弥呼が治めたとされる国名を漢字で書きなさい。

( 邪馬台国 )

(2) 下線部 b に関して、推古天皇のもとで行われたことについて述べた文として適切なものを次のア〜エから1つ選んでその符号を書きなさい。

- ア. 班田収授が行われ、戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田が与えられた。
- イ. 才能のある人物を役人に取り立てるため、冠位十二階の制度が定められた。
- ウ. 神話や国のなりたちについて記した『日本書紀』がつけられた。
- エ. 国には国司が派遣され、土地の豪族が群司に任命され、政治が行われた。

これより... ( イ )

推古天皇の才覚政となった聖徳太子の話。